

Yamakado News Letter



ワークショップ参加者（中央は講師の内田香奈さん） Photo 中野

体を使わず、頭だけの作業を6時間！

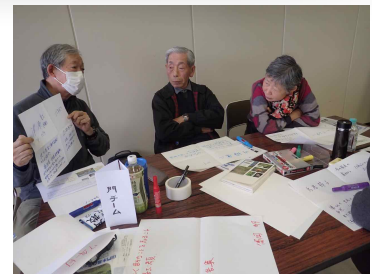
12月15日、ワークショップ「これからの山門水源の森とその保全活動を、どうしたらいいかを考えてみる会」を開催しました。参加者は会員19名。講師にきょうとNPOセンターの内田香奈さんをお願いし、参加型、話し合い型のスタイルで行いました。今回の作業では、①みんなで会の現状・課題を確認・把握する。②みんなで会の森の保全作業のことでなく、運営課題について話し合う経験を共有する。③今後の運営課題を話し合うための手がかりをつかむ。これらを目標に、10時から16時半までの長丁場で作業を行いました。

トップ画像はワークショップが終了した16時半に撮影されたものです。長時間にわたる作業で疲れがあるものの、皆さん清々しい表情です。

今回の作業では以下のようなルール、知っているふりをしない・お互いへの質問はウェルカム・話すときは話す、聞くときは聞く・一人がしゃべり過ぎない・初めての人に話すつもりで丁寧に話す（端折らない、わかるでしょ？という姿勢はなし）・初めて聞くつもりでじっくり聞く（それって知っ

てる！、またその話？という態度はなし）を設けました。作業の流れとしては、互いに多様な意見や思い入れがあることを受け入れて理解した上で、各参加者の意見を似たような事柄別にグルーピングを行います。そうして集約化された課題の中で、より皆が共有していると思われる課題に的を絞り、その課題について皆で意見を出し合い、またそこで出た意見をグルーピングする、といったものでした。

各方面で活動している市民活動などの多くは、何らかの課題を目の当たりにして、その課題解決のために活動が始まり、継続されています。それらの課題と活動は、積荷とそれを運ぶ船に例えられます。課題＝積荷については皆さんよく理解し、共有もされやすいですが、組織＝船については疎かにされがちです。それは参加した動機が課題に関心があったからで、組織に関心があってではないからです。しかし、世代を超えて活動を継続しようすれば、必ず組織の問題はついて回ります。今回の作業をきっかけに組織についても深掘りをしていきたいと考えています。



各チーム 発表者の話の話を傾ける



チーム内で意見を出し合いまとめる



各チームの内容を全体で共有する



夜はこれまでの慰労を兼ねて忘年会



突然現れだした岩の塊 作業道先端部に

ゴール約100m手前に来て難航

県との協働事業の作業道作りは、今年度事業計画に則って順調に開設が進んでいましたが、予定ゴール地点の約100m（直線距離にして約50m）手前に来て、大きな岩の塊にぶち当たってしまいました。この区域はルート選定時の踏査の段階で一部岩の露出が見られたため、約200m先から少し勾配をきつくて岩場の上を通過するようなコース設定をしていました。ところが、実際に掘り進んで行くと想定以上の大きな岩が幾つも埋まっていることがわかりま

した。岩を破碎する手段や方法を幾つか検討・試行しましたが、現時点では効果的な結果は得られず、約100mほど戻って迂回するルートを検討しています。この区域までは勾配の緩い尾根近くを掘り進んだため、斜面を約1m切り取っても風化して掘削しやすい地盤で岩は出てきませんでした。しかし、急勾配の谷筋ではそうした風化した地盤も表土と共に流出してしまっているのか、岩場が表面から近いようです。藤本先生から御在所岳の露出した花崗岩の画像を送って頂きましたが、難航している作業現場もちょっと地面を剥げば左画像のような状態なのかもしれません。単純に作業のみを考えれば、ゴール間



侵食により山肌に現れた花崗岩 御在所岳 Photo 藤本H

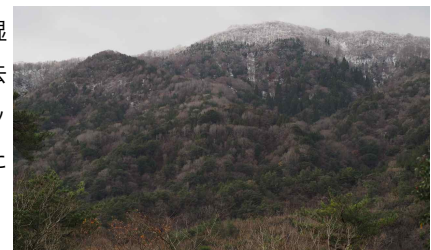
近でこの難関とは！と泣きたくなる心情です。しかし、せっかくですので山門水源の森の保全作業は動植物だけでなく地質についても体験しながら学べるのか！と前向きな気持ちで気分を立て直そうと考えています。

今年は雪がまだ降りませんが

ここ数年で、獣害対策用のネットを設置する範囲が随分拡大しました。ネットを設置した効果は植生の回復など至る所で現れていて、保全のしがいを実感しているところです。そうした防獣施設も降雪時の破損を避けるため、毎年タイミングを見計らって解体しています。これが一気仕事でなかなかの労力です。

そこで、今年は試しに降雪前ですが湿原のイノシシ対策用トタンだけを撤去して様子を見ることにしました。ネットを下ろすだけなら雪が積もりだした後でも対応が可能と考えたからです。

（最重要の南部湿原はまだトタンを撤収していません）

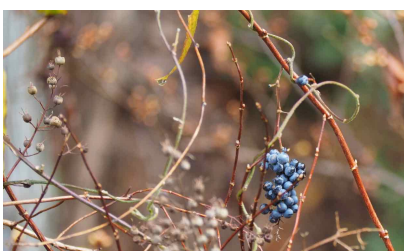


少しだけ白くなった総見山 12/8

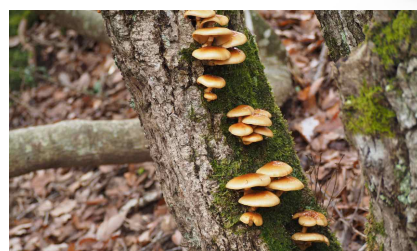


トタンのみ撤収 作業と撤収後

今月の森の様子



鮮やかな青い実 アオツツラフジ 12/8



ナメコの季節がやって来た 12/11



寒空に映えるミヤマウメドキの赤 12/16